

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 19日

事業所名 きこえこども支援センターひなげし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	1		利用人数によっては机、椅子の配置が狭いことがある。また成長に合わせて机、椅子の高さ調整が必要になる。
	2	職員の配置数は適切である	2	2	1		規則上の職員配置は適切だが、利用されるお子さんの支援度合いによっては体制を整える必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	1		フルタイム職員、パート職員、それぞれが十分に参加する状況が難しい。適切な方法を検討していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		自己評価の結果は、ホームページで公開している。家族には、それぞれ配布している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		事業所内外の研修は積極的に取り入れている。また、施設外のものについては伝達研修も行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	1	季節や行事に合わせた活動を検討するようにしている。	職員の意見を聞きながら行うようにしているが、チームで検討する時間が確保できていない。効率のよい取り組み方を検討していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		1		受け入れ前に打合せをとるようにしているが、十分に行えていない状況もあるため、時間確保やスタッフ間の情報共有について、現在取り組みを進めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		1		日々の支援に関して気づいた点等を記録し、気になるところがあればその都度話し合いを設けているが、検証・改善までの取り組みが不十分となっている。上記15、16同様に取り組みを進めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		1		職員間での情報共有が十分ではないところがあり、情報が適切に伝わっているか、不安なところがある。まずは職員間での情報共有を徹底し、会議につなげられるようにしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5				学校の行事予定や下校時刻等の確認は事前に年間予定表をいただいている。また日々の送迎時の引継ぎに合わせて、2ヶ月に1回、学校との連携会議を行い、情報を共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	1		医療的ケアの必要な方の受け入れは現状での支援体制がとれず、行っていない。今後、ご相談があれば受け入れの可否含め検討していきたい。
関係機関や	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1		児童発達支援から放課後等デイの情報事は事業所内で共有されている。また、ろう学校であれば幼稚部からも情報を得られる環境ではあるが、地域の保育所等との連携は実績がない。今後、必要に応じて対応したい。

保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		放課後等デイサービスで得た情報は障害福祉サービス事業所へ引き継がれるようご家族の同意の上、情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	3		以前は児童館に出向くこともあったが、感染症の影響でここ数年は外に出る機会が減少していた。今年度から外出を再開しているため、引き続き範囲が広げられるようにしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	4		協議会の参加はしていないが、連絡会などの開催については積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				日々の連絡帳のやりとりや引継ぎ等の際に子どもの様子等の共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	3		事業所の活動として親子で参加できる行事など、以前(コロナ前)は実施していた。感染症に対する対応も落ち着いてきたため、企画を検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		1	苦情窓口を置き、迅速に対応できるよう体制を取っている。	
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			毎月の活動報告を内容とするお便りを作成、配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	1		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	1		マニュアルは作成されているが、保護者の皆さんへの周知が十分ではないため、今後努めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1		4		実施しているが、全ての児童の参加は難しい状況がある。児童のいる時間に災害が起こることを想定し、訓練も行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				虐待についての研修は全職員を対象に実施している。参加が難しい場合は動画を視聴してもらい、内容を理解していただけるように対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2			現状では対象となる方はいらっしゃらない。対応が必要となった場合は組織で決められた手順を得て対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	3	1		随時ヒヤリハットを実施しているが、事例集の作成も取り組んでいきたい。